

珍道中コミック

備前式内社巡り どっこい道中記



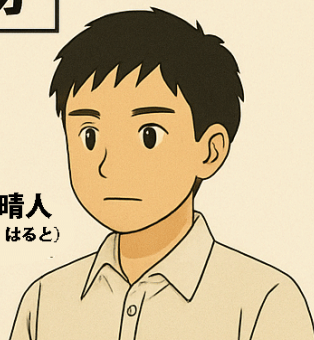
中学からの親友、神社めぐりで
人生を問う!?

登場人物



岡本 悠馬
(おかもと・ゆうま)

岡山の大学に通う地元っ子。
民俗学ゼミ所属。式内社研究が趣味で、
徒歩での神社巡りにロマンを感じている。
やや天然だが真面目。



田中 晴人
(たなか・はると)

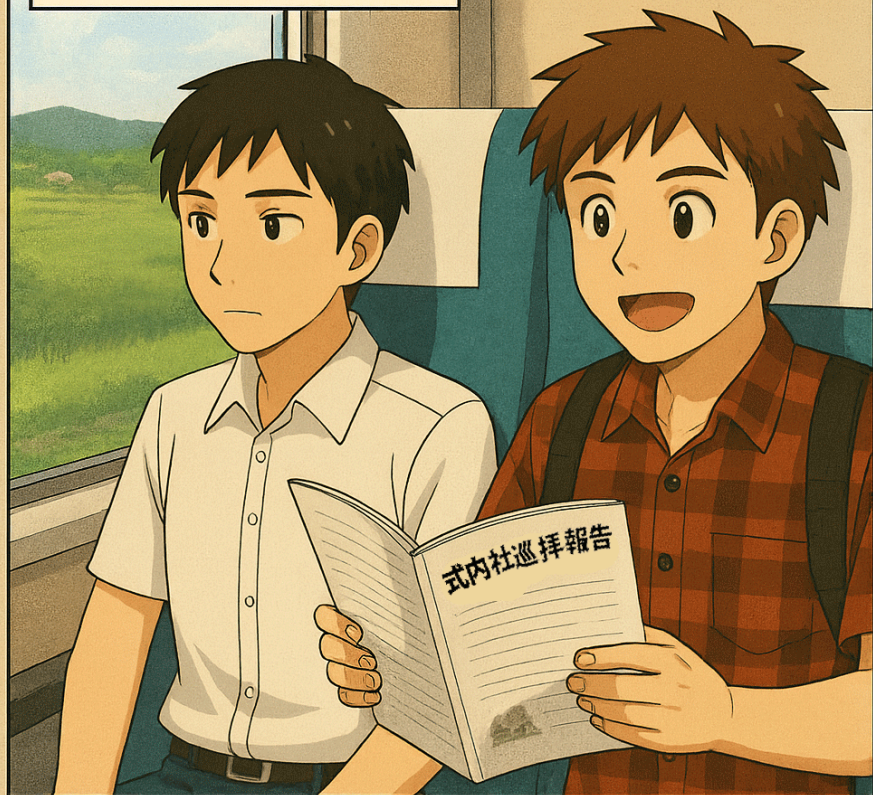
東京の私大に通う歴史学科の学生。
中高時代の親友で、
岡本の誘いに応じて旅に参加。
少々飄々としており、
ツッコミ役。

岡山県（備前国）の式内社

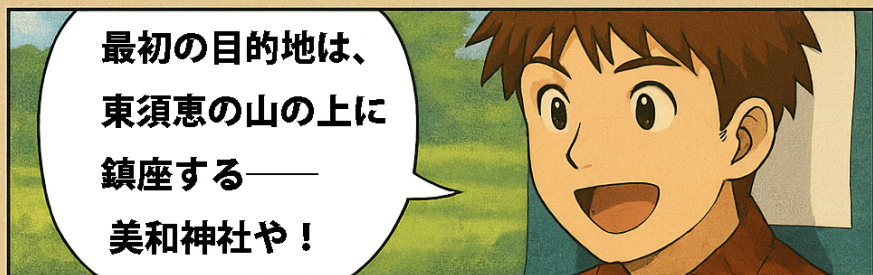
- | | | | |
|----------|-------------|-------------|-----------|
| ①美和神社 | 瀬戸内市長船町東須恵 | ⑫天神社 | 岡山市北区三野本町 |
| ②片山日子神社 | 瀬戸内市長船町土師 | ⑬伊勢神社 | 岡山市北区番町 |
| ③安仁神社 | 岡山市東区西大寺一宮 | ⑭天計神社 | 岡山市北区中井町 |
| ④鴨神社 三座 | 赤磐市仁堀西 | ⑮国神社 | 岡山市北区三門中町 |
| ⑤宗形神社 | 赤磐市是里 | ⑯石門別神社 | 岡山市北区大供表町 |
| ⑥石上布都魂神社 | | ⑰尾治針名真若比女神社 | |
| | 赤磐市石上 | | 岡山市北区津島本町 |
| ⑦布勢神社 | 赤磐市仁堀西 | ⑱鴨神社 | 加賀郡吉備中央町 |
| ⑧神根神社 | 備前市吉永町神根 | ⑲宗形神社 | 岡山市北区大窪 |
| ⑨大神神社四座 | 岡山市四御神宇土師之森 | ⑳鴨神社 | 玉野市長尾 |
| ⑩石門別神社 | 岡山市北区奥田南町 | ㉑田土浦坐神社 | 倉敷市下津井田之浦 |
| ⑪尾針神社 | 岡山市北区京山 | | |



二人はＪＲ赤穂線に
揺られ、長船駅へと
向かう。



最初の目的地は、
東須恵の山の上に
鎮座する——
美和神社や！







美和神社を後あとにして、次の目的地は
徒歩圏——だと思ったのだが……

これ道合って
んのか!?

片山稲荷神社って

片山稲荷

もともと山の上
にあったらしい。

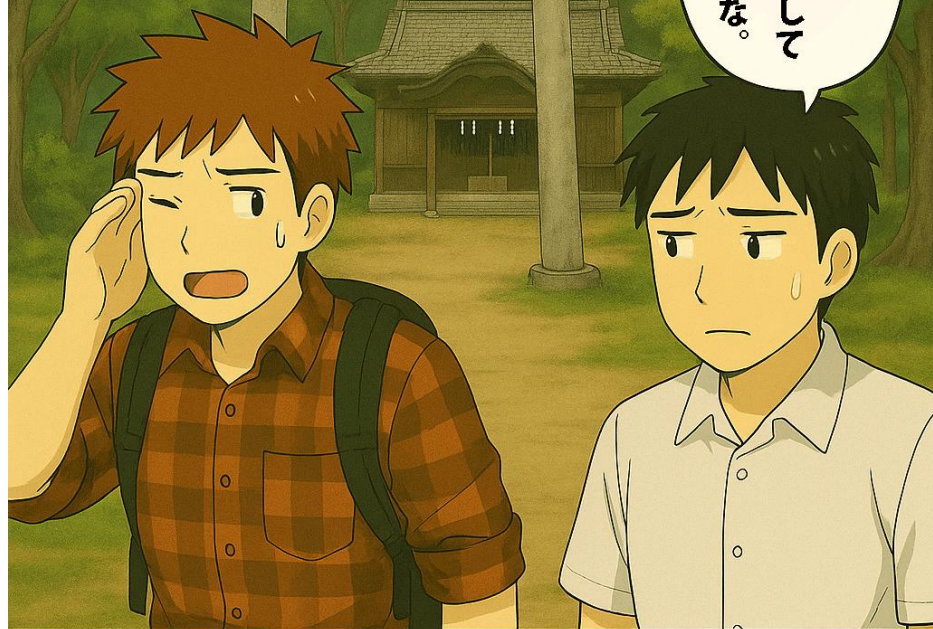
お前、
そんなことまで
覚えてるのになんで道に
迷うんだ……

書いてある
ぞ、これ

ここは違った！
片山日子神社は

片山日子神社

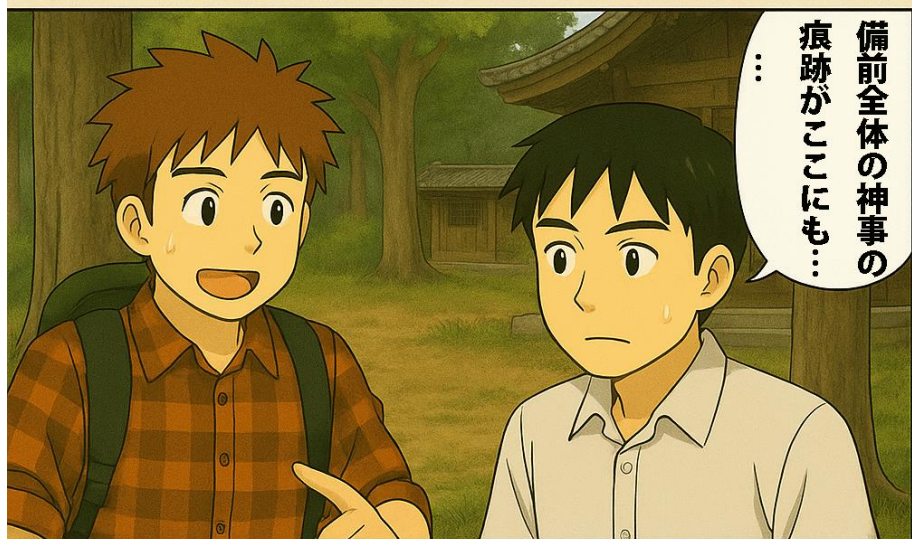
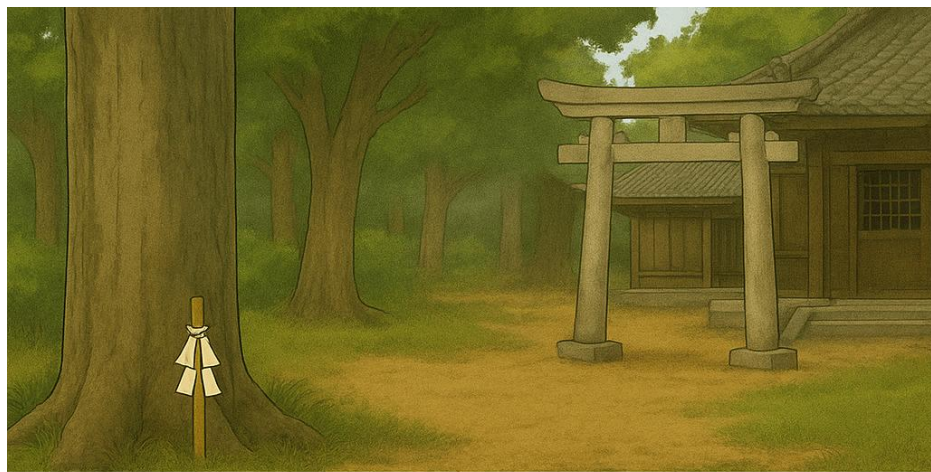
古墳群の近くに
ひっそりと鎮座して
いるって感じだな。



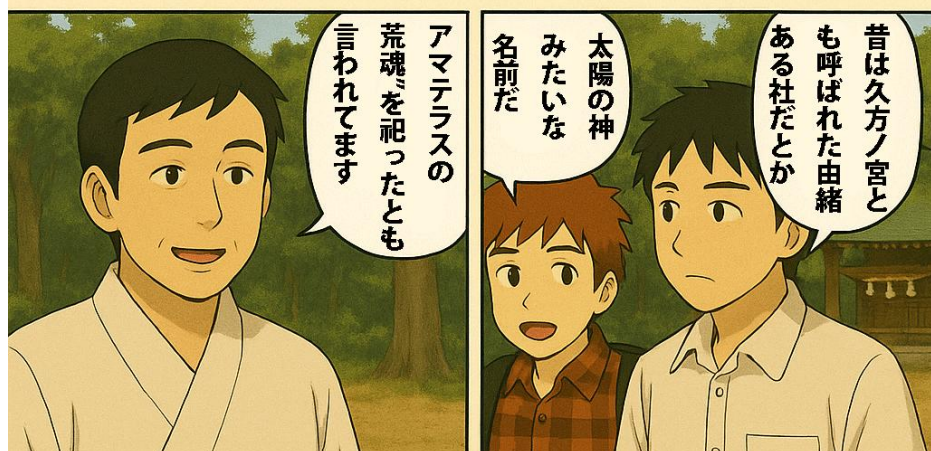
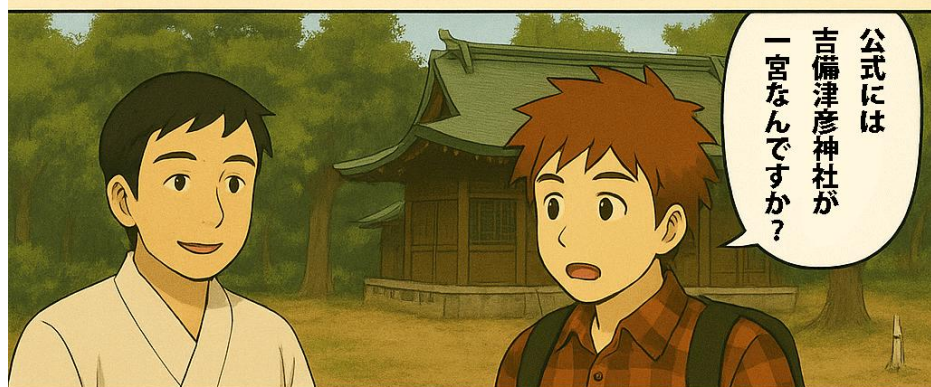
もともと山の上に
あったんだろ？

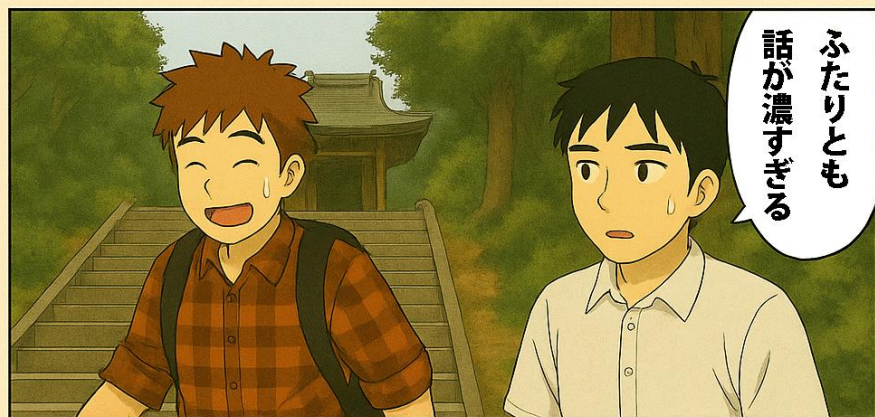
後冷泉天皇の時代に
下ろされたって
記録があるんよ











ふたりとも
話が濃すぎる



たぶん江戸後期の
備前焼やろ

スマートな
顔立ちしてるな



この狛犬の
顔立ち見てみ



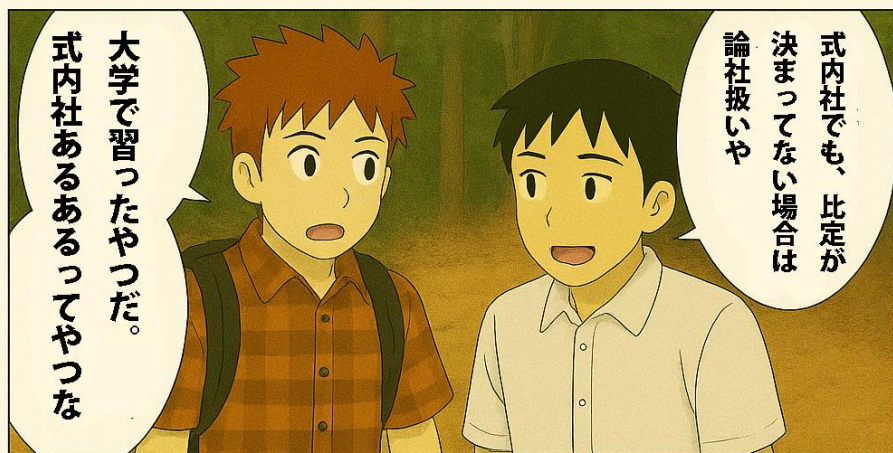
お前、神社猫か？
それとも
ご祭神の使いか？

まさかの
ファンタジー
俺たち旅もの
ライトノベルだよ

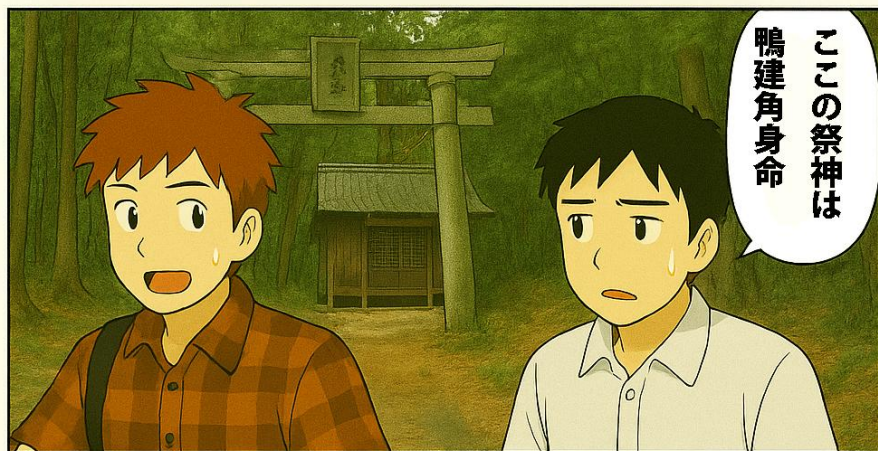
第四章「鴨神社は三つある！？の巻」



第一の鴨神社（赤磐市仁堀西）



弁 第二の鴨神社(加賀渚吉備中央町)





第五章 宗形と石上、武と魂の社、の巻



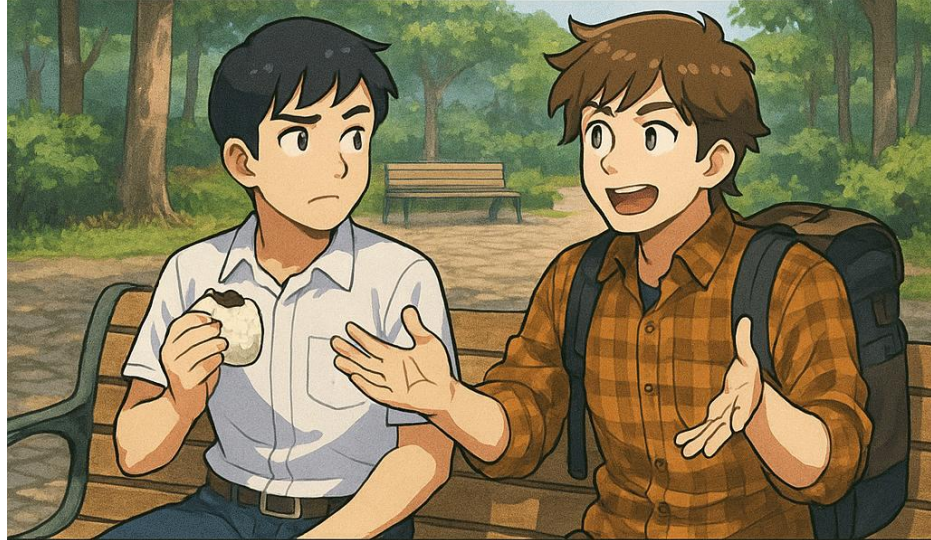
開 石上布都魂神社 —

武の剣、魂の社





これぞ論社問題！



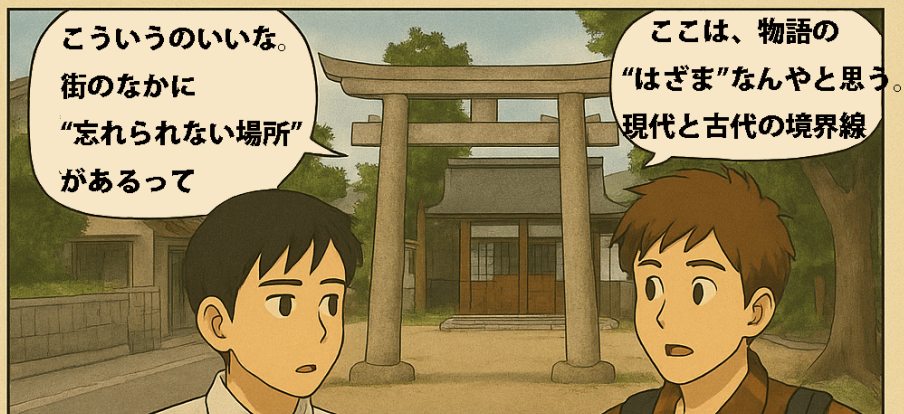
論社ってのはな、式内社が
記された神名帳に名前はあるけど
どこにあったか分かんように
なって、複数の神社が
ウチが本家や！って
名乗っとる状態なんや



正統を争う”ってより、
地域の記憶を守る感じやな
地元ではちゃんと信仰されとる
し参拝に意味があるんだな



それや、旅して
わかる、論社の尊さよ



二人が次に向かったのは、ふたつの神社。

尾針神社(岡山市北区京山) と天針神社(岡山市北区中井町)



「針」だもんな

「尾針」って
珍しい名前やろ

尾針神社の社殿は、
静かに木々に囲まれていた。

「針」っていう字が
つく神社って少ないよな。

灸や医療と
の関係が
あるのかも

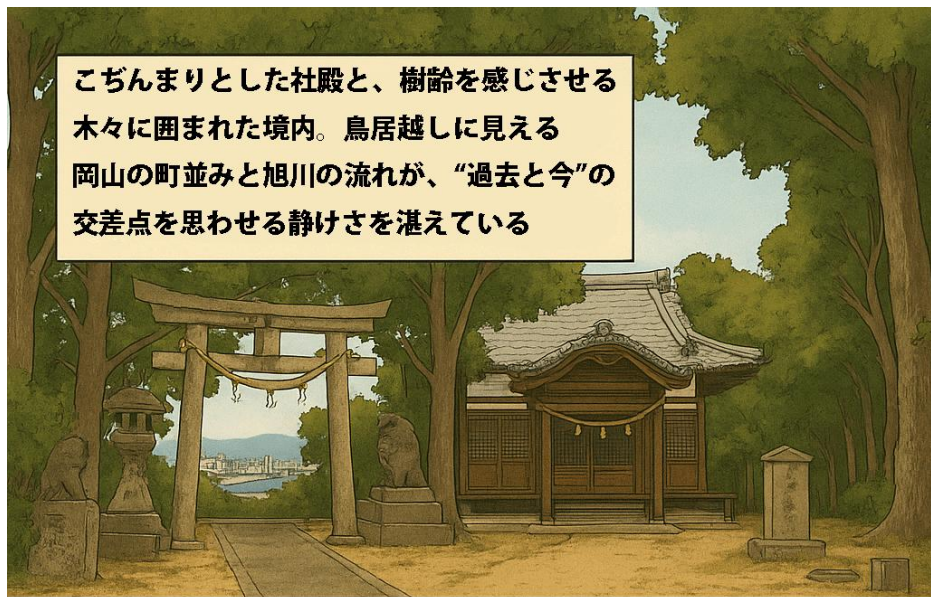
天計神社はこじんまりとしていたが、
名の響きが印象的だった



岡山の神社って、
"大きな力"をもった
名前が多いんよな。
地味だけど深い

天をはかる"って、
すごい神名だよな。
古代の暦とか天文に
関係あるんじゃない？

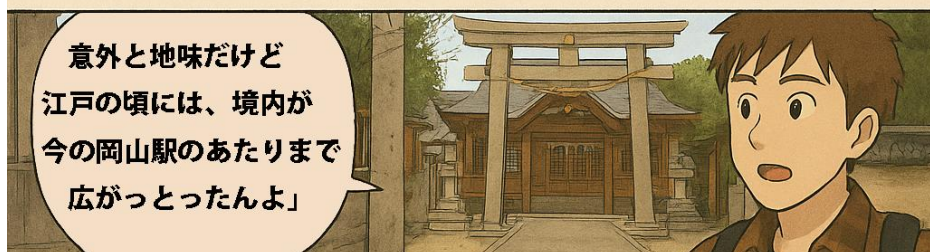
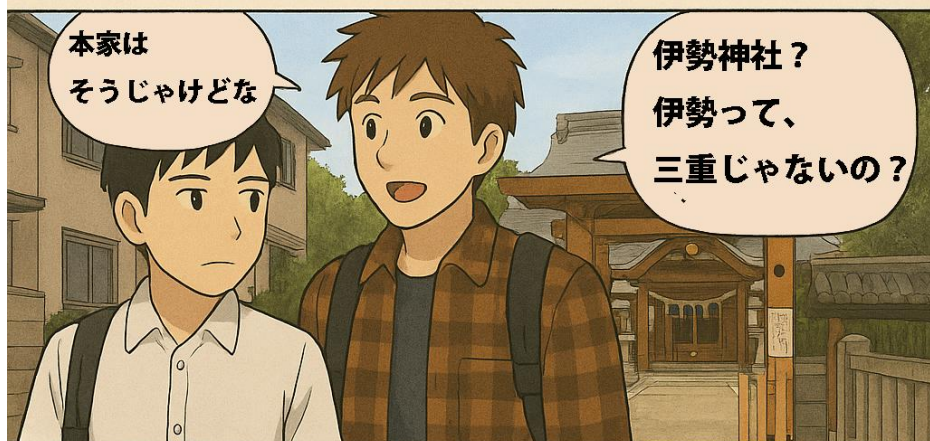
こじんまりとした社殿と、樹齢を感じさせる
木々に囲まれた境内。鳥居越しに見える
岡山の町並みと旭川の流れが、“過去と今”の
交差点を思わせる静けさを湛えている



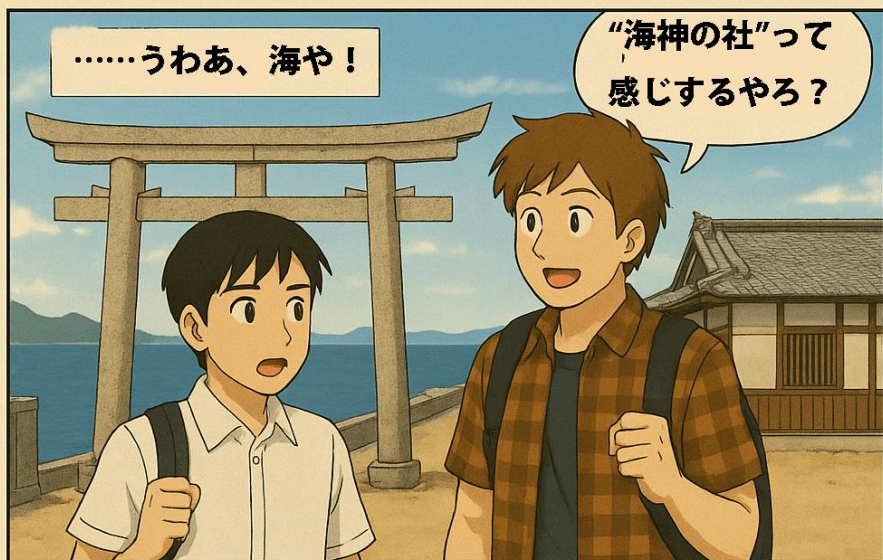
「国神」という社名は全国的にも珍しく、古代の“地霊信仰”の
振簀とされる

“国”が神であり、“土地”が祈りの対象だった古代日本にい
あい、国神社はまさに「地を守る神」の権威。
《延喜式》のなかでも“御野郡一一の式内社”として記載され
るなど、重要な位置づけにある









帰りの電車の中、窓を流れる風景



岡本が語りかける



お前が論社なら、
俺は“浪社（ろうしゃ）”
かな。放浪する
社オタクとして



また旅しようや。
論社の続きを、今度は、
備中とか美作で

